

都市再生整備計画 事後評価シート
安倍川駅周辺地区

平成28年3月

静岡県静岡市

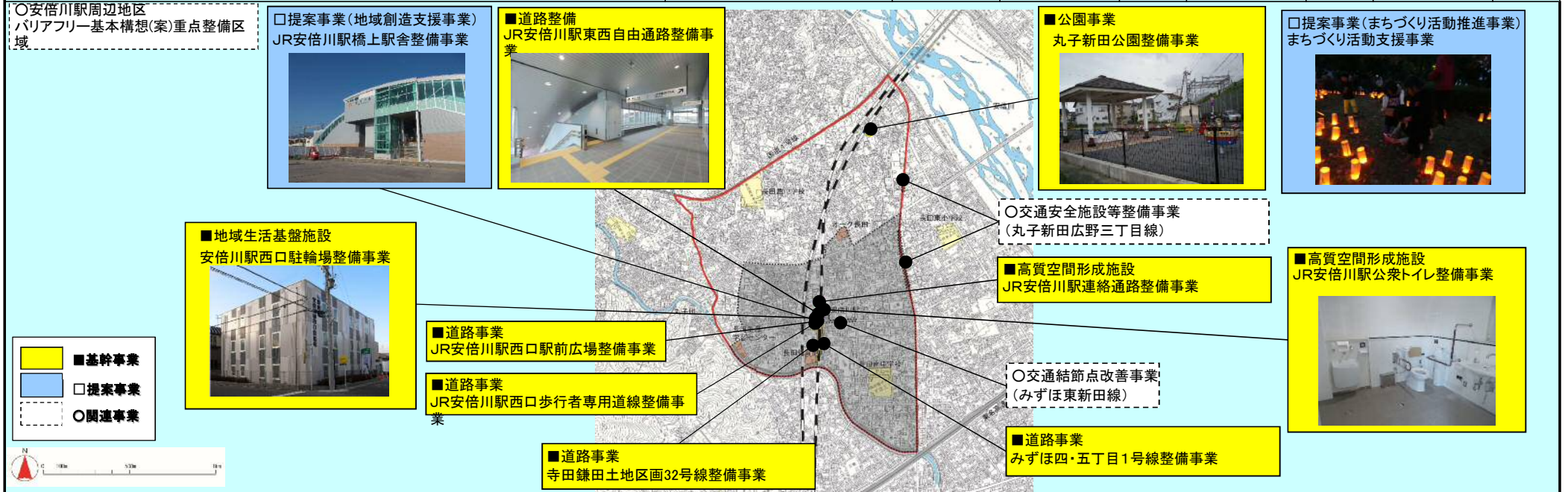
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	安倍川駅周辺地区			面積	200ha							
交付期間	平成23～27年度	事後評価実施時期	平成27年度	交付対象事業費	3,759百万円	国費率	0.35									
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】JR安倍川駅西口駅前広場整備事業 【公園】丸子新田公園整備事業 【地域生活基盤施設】安倍川駅西口駐輪場整備事業													
		提案事業	【地域創造支援事業】JR安倍川駅橋上駅舎整備事業 【まちづくり活動推進事業】まちづくり活動支援事業													
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路				関係機関との協議の結果、事業詳細が決定したことから、自由通路部分を「道路」に、トイレ部分を「高質空間形成施設」に、連絡通路部分を「高次都市施設」に変更するため平成23年度に計画変更し、削除した。		各指標に対して、影響はあるものの、指標及び数値目標は据え置く。							
		提案事業	-				-		-							
	新たに追加した事業	基幹事業	①【道路】寺田鎌田土地区画32号線整備事業 ②【道路】みずほ四・五丁目1号線整備事業 ③【道路】安倍川駅西口歩行者専用道路整備事業 ④【道路】JR安倍川駅東西自由通路整備事業 ⑤【高質空間形成施設】JR安倍川駅公衆トイレ整備事業 ⑥【高次都市施設】JR安倍川駅連絡通路整備事業				①～③:比較的利用頻度の高い道路に歩道を整備し、駅へのアクセス性の向上、バリアフリー化の推進を図るため、平成23年度に計画を変更し、追加した。 ④～⑥:関係機関との協議の結果、事業詳細が決定したことから、自由通路部分を「道路」に、トイレ部分を「高質空間形成施設」に、連絡通路部分を「高次都市施設」に変更するため平成23年度に計画変更し、削除した。		①～③:各指標に対して、影響はあるものの、指標及び数値目標は据え置く。 ④～⑥:当初予定していた【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路から、自由通路部分を【道路】に、連絡通路部分を【高質空間形成施設】に、JR安倍川駅公衆トイレに、連絡通路部分を【高次都市施設】JR安倍川駅連絡通路への事業変更のため、指標や指標に対して影響はない。							
		提案事業	-				-		-							
交付期間の変更	当初	平成 23～ 27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-										
	変更	-		-		-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期							
	指標1	安倍川駅の乗客数	人/日	4,395	H21	4,560	H27	4,508 4,541 (平成27年度値)	△	あり	●	安倍川駅橋上駅舎、東西自由通路及び駅西口駐輪場の供用開始により、一定の効果はあったものの、供用開始直後の評価となりバリアフリー化等の効果が利用者十分に浸透していない可能性があることや、事業進捗の遅れにより計画期間内に整備完了に至らない事業も多いことから、目標の達成が難しいことが考えられるが、今後、事業の適正な進捗や事業効果の浸透により乗客数の増加は十分に期待できる。	平成28年7月			
	指標2	バリアフリー化に対する満足度	%	2.0	H22	55	H27	3.0	17.3	△	あり	●	安倍川駅橋上駅舎及び東西自由通路の整備による駅のバリアフリー化や、歩行者・自転車通行帯の整備による、歩道幅員の確保等、バリアフリー化への一定の効果はあったものの、安倍川駅へのアクセス道路及び駅前広場や周辺道路整備が進行中(未完了)であるため、目標の達成には至らなかった。			
	指標3	まちの住みやすさに対する満足度	%	37	H22	45	H27	49.0	45.5	○	あり	●	まちづくり活動団体による、暮らしマップの作成や、地区内でのイベント開催等、地域活動が活発に行われたことよって、地域住民のつながりが生まれたことや、丸子新田広野三丁目線整備により歩行者・自転車通行帯の分離が図られ歩行者空間の安全性が高まったことなどが満足度の向上に寄与した。			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期							
	その他の数値指標1															
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 安倍川駅周辺整備に関するパンフレットを作成・配布したことにより、住民の安倍川駅舎の整備の認知度が高まり、駅前広場整備の期待が高まった。 設計段階での住民参加による丸子新田公園ワークショップを通して、公園への愛着がわき、整備後の愛護会設置につながった。 住民が主体となったまちづくり活動団体「長田彩りの会」が発足され、地区内でのイベント活動が開催された。 市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開され、今後の事業推進にあたっての連携体制が強化された。 															
	実施内容					実施状況					今後の対応方針等					
5) 実施過程の評価	モニタリング	【平成25年度】都市再生整備計画及び個別の各事業の進捗状況の把握や市民アンケート調査の実施、目標値の達成見込みの検証を行った。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 他地区の計画や今後策定される計画においても、地区の状況に応じて、適宜モニタリングを実施する。				
	住民参加プロセス	①丸子新田公園ワークショップの開催⇒平成24年1月27日、2月17日、3月6日(計3回) ・整備内容についてワークショップ形式で検討を行い、構想図をまとめた。 ・公園整備後の維持管理体制の検討を行った。 ②【平成25年度】安倍川駅周辺暮らしマップづくりプロジェクトを実施した。 【平成26年度】長田彩りの会によるイベントを開催した。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●(②) ●(①) ①公園完成後の管理などについても住民参加による取り組みに支援を行う。 ②住民参加の取り組みを積極的に行い、情報の周知や情報収集を行うことにより、住民のまちづくりに対する意識の向上を目指す。				
	持続的なまちづくり体制の構築	安倍川駅周辺の整備にあわせ、地元住民が主体となったまちづくり活動団体(長田彩りの会)が立ち上げられた。地区内でのイベント活動や安倍川駅周辺地区の暮らしマップの支援を行った。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 引き続き、地区内でのイベント活動等、継続的なまちづくり活動の支援を行う。				

様式2-2 地区の概要

安倍川駅周辺地区(静岡県静岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
■誰もが安心・安全・快適に暮らせる、幅広い世代に対応したまちづくり ・駅への円滑なアクセス環境を整備することで、交通結節機能の強化を図る ・バリアフリー化の推進によって、すべての人にやさしい生活環境を整備する ・まちの安全性の向上と地域活動の活発化によって、良好な住環境を形成する	安倍川駅の乗客数	人/日	4,395	H21	4,560	H27	4,541 (平成27年度値)	H27
	バリアフリー化に対する満足度	単位: %	2	H22	55	H27	17.3	H27
	まちの住みやすさに対する満足度	単位: %	37	H22	45	H27	45.5	H27



まちの課題の変化	<p>■残された未解決の課題</p> <p>【指標1】 ・交通結節点機能のさらなる向上のため、安倍川駅東西駅前広場や安倍川駅へのアクセス道路の整備の早期完成が求められている。 ・引き続きバス事業者との協議を進める。</p> <p>【指標2】 ・安倍川駅周辺道路および東西駅前広場整備等による、道路のバリアフリー化整備の早期完成が求められている。</p> <p>【指標3】 ・歩行者と自転車の交通分離による、交通環境の安全性は高まったが、街灯(防犯灯)設置支援による防犯上の安全性向上が求められている。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>◇効果を持続させるために行う方策</p> <p>【持続的なまちづくり体制の構築】・公園の適切な維持管理を持続するため、住民による維持管理体制の強化を図る。・住民主体のまちづくり活動(長田彩りの会等)を継続させるため、住民による活動体制の強化を図る。(想定される事業:公園愛護会の活動支援・まちづくり活動(長田彩りの会)への支援)</p> <p>◇改善策</p> <p>【交通結節点機能の強化】・安倍川駅東西駅前広場の早期完成。・安倍川駅駐輪場(バイク置き場)の早期完成。(想定される事業:安倍川駅東西駅前広場整備の推進・バイク置き場整備の推進)</p> <p>【バリアフリー化の強化】・安倍川駅アクセス道路の整備による、道路のバリアフリー化の強化を図る。・バリアフリー基本構想に基づく計画的な事業の実施を図る。(想定される事業:JR安倍川駅西口駅前広場整備事業の推進・寺田鎌田土地区画32号線整備事業の推進・みずほ四・五丁目1号線整備事業の推進・安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業の推進・交通結節点改善事業(みずほ東新田線)の推進・寺田鎌田第一公園バリアフリースペース整備の推進・オーク長田オストメイト対応トイレ整備の推進・(都)上川原広野線整備の推進・(都)上川原鎌田中央線整備の推進・寺田鎌田土地区画26号整備の推進)</p> <p>【居住環境のさらなる向上】・街灯(防犯灯)設置支援による夜間の安全性向上の推進を図る。(想定される事業:街灯(防犯灯)の設置補助)</p>

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- ~~添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測~~
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- ~~添付様式9 有識者からの意見聴取~~

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標		●	—	—	—
C. 目標値		●	—	—	—
D. その他(地区計画)		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	JR安倍川駅西口駅前広場整備事業	811	A=600㎡ (H23~H27)	811	A=1,300㎡ (H23~H27)	事業内容の精査により、平成23年度に事業面積を変更した。	事業内容の精査による変更であるため、目標や指標に対して影響はない。	●	● (平成28年度末)
	寺田鎌田土地区画32号線整備事業	—	—	47	L=250m (H24~H27)	公共施設を結ぶ比較利用頻度の高い道路に歩道を整備し、駅へのアクセス性の向上、バリアフリー化の推進を図るため、平成23年度に計画を変更し、追加した。	各指標に対して、影響はあるものの、指標及び数値目標は据え置く。	●	● (平成28年度末)
	みずほ四・五丁目1号線整備事業	—	—	47	L=200m (H24~H27)	公共施設を結ぶ比較利用頻度の高い道路に歩道を整備し、駅へのアクセス性の向上、バリアフリー化の推進を図るため、平成23年度に計画を変更し、追加した。	各指標に対して、影響はあるものの、指標及び数値目標は据え置く。	●	● (平成28年度末)
	JR安倍川駅東西自由通路整備事業	—	—	598	L=85m (H24~H27)	関係機関との協議の結果、自由通路を道路認定されることから、「高次都市施設(東西自由通路)」の自由通路部分を道路事業として、平成23年度に計画を変更し、追加した。	当初予定していた「【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路」から「【道路事業】JR安倍川駅東西自由通路」への事業変更による追加のため、目標や指標に対して影響はない。	●	
	安倍川駅西口歩行者専用道路整備事業	—	—	55	L=21.5m (H25~H27)	西口駅前広場につながる歩行者専用道路を整備し、駅へのアクセス性の向上、バリアフリー化の推進を図るため、平成24年度に計画を変更し、追加した。	各指標に対して、影響はあるものの、指標及び数値目標は据え置く。	●	● (平成28年度末)
公園	丸子新田公園整備事業	134	A=1,091㎡ (H23~H25)	134	A=1,091㎡ (H24~H25)	—	—	●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	安倍川駅西口駐輪場整備事業	160	A=744㎡ (H23~H25)	500	A=630㎡ (H23~H27)	事業箇所の変更に伴い、当初の平面駐輪場から立体駐輪場に変更する必要が生じたため、平成23年度に計画を変更し、増額した。	当初予定していた収容台数の規模を確保するための駐輪場の形式の変更であるため、目標や指標に対して影響はない。	● (立体駐輪場)	● (バイク置き場(平成28年度末))
高質空間形成施設	JR安倍川駅公衆トイレ整備事業	—	—	127	A=99㎡ (H24~H27)	関係機関との協議の結果、事業詳細が決定したことから、トイレ部分を「高質空間形成施設」として平成23年度に計画を変更し、追加した。	当初予定していた「【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路」から「【高質空間形成施設】JR安倍川駅公衆トイレ」への事業変更による追加のため、目標や指標に対して影響はない。	●	
高次都市施設	JR安倍川駅東西自由通路	760	A=500㎡ (H23~H26)	—	—	関係機関との協議の結果、事業詳細が決定したことから、自由通路部分を「道路」に、トイレ部分を「高質空間形成施設」に、連絡通路部分を「高次都市施設」に変更するため平成23年度に計画変更し、削除した。	当初予定していた「【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路」から、自由通路部分を「【道路事業】JR安倍川駅東西自由通路」に、トイレ部分を「【高質空間形成施設】JR安倍川駅公衆トイレ」に、連絡通路部分を「【高次都市施設】JR安倍川駅連絡通路」への事業変更であるため、目標や指標に対して影響はない。		
	JR安倍川駅連絡通路整備事業	—	—	71	A=56㎡ (H24~H27)	関係機関との協議の結果、事業詳細が決定したことから、自由通路から駐輪場までの連絡通路部分を「高次都市施設(東西自由通路)」にするため、平成23年度に計画を追加した。	当初予定していた「【高次都市施設】JR安倍川駅東西自由通路」から「【高次都市施設】JR安倍川駅連絡通路」への変更による追加のため、目標や指標に対して影響はない。		● (平成28年度末)
工地区画整理事業(都市再生)									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	JR安倍川駅橋上駅舎整備事業	1,530	A=1,060㎡ (H23～H26)	1,354	A=1,060㎡ (H24～H27)	事業詳細の決定により、平成23年度に 計画を変更し、減額及び事業期間の延 伸を行った。	目標や指標に対して影響はない。	●	
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業	まちづくり活動支援事業	15	ワークショップ等 (H23～H27)	15	ワークショップ等 (H23～H27)	—	—		●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
交通結節点改善事業		みずほ東新田線	1,194	1,194	平成20年度～平成27年度	平成20年度～平成27年度	「静岡市の暮らしを支える道 づくり(防災・安全)」の整備計 画にて、平成29年度未完了 予定。	
交通安全施設等整備事業		丸子新田広野三丁目線	1,026	1,026	平成20年度～平成24年度	平成20年度～平成27年度	1工区:220m整備済み 2工区:350mのうち215m整備 済み 計:570mのうち435m整備済 み 「静岡市の暮らしを支える道 づくり(防災・安全)」の整備計 画にて、平成30年度未完了 予定。	
バリアフリー基本構想重点整備地区		安倍川駅周辺地区	-	-	-	-		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	H25	4,508 (平成24年度の数値)	モニタリング	△	あり	なし
指標1	安倍川駅の乗客数	人/日	4,301	H17	4,395	H21	4,560	H27	モニタリング	H25	4,508 (平成24年度の数値)	モニタリング	△	●	
									事後評価	確定	4,541 (平成27年度値)	事後評価	△		
指標2	バリアフリー化に対する満足度	%	—	—	2	H22	55	H27	モニタリング	H25	3	モニタリング	△		●
									事後評価	確定	17.3	事後評価	△		
指標3	まちの住みやすさに対する満足度	%	—	—	37	H22	45	H27	モニタリング	H25	49	モニタリング	○		
									事後評価	確定	45.5	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	H27年度値を推計したところ目標達成には至らなかったが、H23以降の交付期間中は、順調に増加傾向にあることから、「△」とし、新駅舎および東西自由通路完了効果により1年以内の達成見込みありとした。	・H25年度値は、富士山世界遺産登録効果等により三松原をはじめ静岡市内の観光客数が突出して増加しており、その影響を受けたことによって、市内のJR駅の乗客数も突出した増加傾向にあることから特異値として扱った。
指標2	H27年10月に実施したアンケート調査の結果は、目標値に達しなかったものの、従前値・モニタリング値と比較すると指標の数値が増加しており、事業を実施したことである程度の評価を得られたため、「△」とした。	
指標3	H27年10月に実施したアンケート調査の結果、目標値に達した結果が得られているため「○」目標達成とした。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
		基準年度	基準年度	基準年度	基準年度			
その他の数値指標1						モニタリング		
						事後評価		
その他の数値指標2						モニタリング		
						事後評価		
その他の数値指標3						モニタリング		
						事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・安倍川駅周辺整備に関するパンフレットを作成・配布したことにより、住民の安倍川駅駅舎の整備の認知度が高まり、駅前広場整備の期待が高まった。
- ・設計段階での住民参加による丸子新田公園ワークショップを通して、公園への愛着がわき、整備後の愛護会設置につながった。
- ・住民が主体となったまちづくり活動団体「長田彩りの会」が発足され、地区内でのイベント活動が開催された。
- ・市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開され、今後の事業推進にあたっての連携体制が強化された。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
指標の達成状況の計測と庁内組織による検討	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成25年度 【実施結果】 都市再生整備計画及び個別の各事業の進捗状況の把握 市民アンケート調査の実施 目標値の達成見込みの検証	他地区の計画や今後策定される計画においても、地区の状況に応じて、適宜モニタリングを実施する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
丸子新田公園ワークショップ	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成24年1月27日、2月17日、3月6日(計3回) 【実施結果】 ・丸子新田公園の整備内容についてワークショップ形式で検討を行い、構想図をまとめた。 ・丸子新田公園整備後の維持管理体制の検討を行った。	公園完成後の管理などについても住民参加による取り組みの支援を行う。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
継続的なまちづくりに関する検討	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成25年度 【実施結果】 ・地区住民参加による、安倍川駅周辺暮らしマップづくりプロジェクトを実施し、地区内の案内マップの作成を行った。 【実施時期】平成26年度 【実施結果】 ・長田彩りの会による、彩りフェスタや灯りフェスタなどのイベントを開催した。	住民参加の取り組みを積極的に行い、情報の周知や情報収集を行うことにより、住民のまちづくりに対する意識の向上を目指す。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
継続的な市民まちづくり活動を実施できる体制の構築	予定どおり実施した	● 安倍川駅周辺の整備にあわせ、地元住民が主体となったまちづくり活動団体が立ち上げられた。地区内でのイベント活動や安倍川駅周辺地区の暮らしマップの支援を行った。	長田彩りの会	引き続き、地区内でのイベント活動等、継続的なまちづくり活動の支援を行う。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	危機管理部長、企画部長、財政部長、市民生活部長、文化スポーツ部長、環境創造部長、福祉部長、子ども未来部長、商工部長、都市計画部長、建築部長、土木部長、道路部長、消防部長、下水道部長、教育部長	平成27年12月15日	都市局 都市計画部 都市計画課
安倍川駅周辺地区部会 (上記推進本部の下部組織)	都市計画課長、市街地整備課長、交通政策課長、公園整備課長、緑地政策課長、道路保全課長	平成27年11月4日	都市局 都市計画部 市街地整備課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1		指標3					
指標名		安倍川駅の乗客数		まちの住みやすさに対する満足度					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路: JR安倍川駅西口駅前広場整備事業	△	安倍川駅橋上駅舎、東西自由通路及び駅西口駐輪場の供用開始により、一定の効果はあったものの、供用開始直後での評価となりバリアフリー化等の効果が利用者に十分に浸透していない可能性があることや、事業進捗の遅れにより計画期間内に整備完了に至らない事業も多いことから、目標の達成が難しいことが考えられるが、今後、事業の適正な進捗や事業効果の浸透により乗客数の増加は十分に期待できる。	△	まちづくり活動団体による、暮らしマップの作成や、地区内でのイベント開催等、地域活動が活発に行われたことよって、地域住民のつながりが生まれたことや、丸子新田広野三丁目線整備により歩行者・自転車通行帯の分離が図られ歩行者空間の安全性が高まったことなどが満足度の向上に寄与した。				
	道路: 寺田鎌田土地区画32号線整備事業	△							
	道路: みずほ四・五丁目1号線整備事業	△							
	道路: JR安倍川駅東西自由通路整備事業	◎							
	道路: 安倍川駅西口歩行者専用道路整備事業	△							
	公園: 丸子新田公園整備事業	—							
	地域生活基盤施設: 安倍川駅西口駐輪場整備事業	◎							
	高質空間形成施設: JR安倍川駅公衆トイレ整備事業	○							
提案事業	高次都市施設: JR安倍川駅連絡通路整備事業	△							
	地域創造支援事業: JR安倍川駅橋上駅舎整備事業	◎							
関連事業	まちづくり活動推進事業: まちづくり活動支援事業	○							
	交通結節点改善事業(みずほ東新田線)	△							
	交通安全施設等整備事業	○							
	バリアフリー基本構想重点整備地区	◎							

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	東西駅前広場の整備や安倍川駅へのアクセス道路の整備を進めることにより、さらなる駅の利便性の向上と駅利用者の増加を図る。	まちづくり活動団体による、住民主体の活動を引き続き支援する。また、歩行者・自転車通行帯の分離整備の早期完成を目指し、歩行空間のさらなる安全性向上を図る。		
-------	---	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標2													
指標名		バリアフリー化に対する満足度													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類		
基幹事業	道路：JR安倍川駅西口駅前広場整備事業	××	安倍川駅橋上駅舎及び東西自由通路の整備による駅のバリアフリー化や、歩行者・自転車通行帯の整備による、歩道幅員の確保等、バリアフリー化への一定の効果はあったものの、安倍川駅へのアクセス道路及び駅前広場や周辺道路整備が進行中(未完了)であるため、目標値の達成には至らなかった。	Ⅲ											
	道路：寺田鎌田土地区画32号線整備事業	××													
	道路：みずほ四・五丁目1号線整備事業	××													
	道路：JR安倍川駅東西自由通路整備事業	△													
	道路：安倍川駅西口歩行者専用道路整備事業	××													
	公園：丸子新田公園整備事業	△													
	地域生活基盤施設：安倍川駅西口駐輪場整備事業	△													
	高質空間形成施設：JR安倍川駅公衆トイレ整備事業	△													
	高次都市施設：JR安倍川駅連絡通路整備事業	××													
提案事業	地域創造支援事業：JR安倍川駅橋上駅舎整備事業	△													
	まちづくり活動推進事業：まちづくり活動支援事業	△													
関連事業	交通結節点改善事業(みずほ東新田線)	××													
	交通安全施設等整備事業	△													
	バリアフリー基本構想重点整備地区	△													

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	安倍川駅へのアクセス道路及び駅前広場の整備を進めるとともに、バリアフリー基本構想に基づく計画的な事業(公共施設のバリアフリートイレ整備、周辺道路整備等)の実施によりバリアフリー化向上を図る。			
------------------	---	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	危機管理部長、企画部長、財政部長、市民生活部長、文化スポーツ部長、環境創造部長、福祉部長、子ども未来部長、商工部長、都市計画部長、建築部長、土木部長、道路部長、消防部長、下水道部長、教育部長	平成27年12月15日	都市局 都市計画部 都市計画課
安倍川駅周辺地区部会 (上記推進本部の下部組織)	都市計画課長、市街地整備課長、交通政策課長、公園整備課長、緑地政策課長、道路保全課長	平成27年11月4日	都市局 都市計画部 市街地整備課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
■交通結節点機能の不足 ・JR安倍川駅が利用者の増加に対応されていない。 ・交通機関の乗り換えが不便。 ・駅へのアクセス道路整備が遅れている。	・安倍川駅橋上駅舎及び東西自由通路の整備により、駅利用に対する利便性が向上した。	・交通結節点機能のさらなる向上のため、安倍川駅東西駅前広場や安倍川駅へのアクセス道路の整備の早期完成が求められている。 ・引き続きバス事業者との協議の推進が必要とされている。	
■バリアフリー化の不足 ・駅施設のバリアフリー化がされていない。 ・歩行空間のバリアフリー化がされていない。	・安倍川駅橋上駅舎及び東西自由通路のバリアフリー化整備により、駅施設のバリアフリー化が達成された。	・安倍川駅周辺道路および東西駅前広場整備等による、道路のバリアフリー化整備の早期完成が求められている。	
■居住環境のさらなる向上 ・街灯が少ないなど安全性に不安を感じている。 ・安心して憩い、遊べる場が不足している。	・歩行者と自転車の通行帯分離により、歩道の安全性が向上した。 ・安心して憩い、遊べる場として、丸子新田公園が整備され、地区内北部の公園不足の解消が図られた。	・歩行者と自転車の交通分離による、交通環境の安全性は高まったが、街灯(防犯灯)設置支援による防犯上の安全性向上が求められている。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 公園の適切な維持管理を持続するため、住民による維持管理体制の強化を図る。 住民主体のまちづくり活動(長田彩りの会等)を継続させるため、住民による活動体制の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園愛護会の活動支援 まちづくり活動(長田彩りの会)への支援

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
<ul style="list-style-type: none"> 未達成の目標を達成するための改善策 未解決の課題を解消するための改善策 新たに発生した課題に対する改善策 	交通結節点機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> 安倍川駅東西駅前広場の早期完成。 安倍川駅駐輪場(バイク置き場)の早期完成。 	<ul style="list-style-type: none"> 安倍川駅東西駅前広場整備の推進 バイク置き場整備の推進
	バリアフリー化の強化	<ul style="list-style-type: none"> 安倍川駅アクセス道路の整備による、道路のバリアフリー化の強化を図る。 バリアフリー基本構想に基づく計画的な事業の実施を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> JR安倍川駅西口駅前広場整備事業の推進 寺田鎌田土地区画32号線整備事業の推進 みずほ四・五丁目1号線整備事業の推進 安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業の推進 交通結節点改善事業(みずほ東新田線)の推進 寺田鎌田第一公園バリアフリートイレ整備の推進 オーク長田オストメイト対応トイレ整備の推進 (都)上川原広野線整備の推進 (都)上川原鎌田中央線整備の推進 寺田鎌田土地区画26号線整備の推進
	居住環境のさらなる向上	<ul style="list-style-type: none"> 街灯(防犯灯)設置支援による夜間の安全性向上の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 街灯(防犯灯)の設置補助

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

【住民アンケートにおける意見】

- 電線の地中化
- 災害対策 震災時の避難路確保と救援活動ルートの確立。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度				あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	安倍川駅の乗客数	人/日	4,395	H21	4,560	H27	4,541	△	あり	●	平成28年7月	JR東海乗客数調査結果より、H27年度のJR安倍川駅の1日当たりの乗客数を把握する		
									見込み	●				
指標2	バリアフリー化に対する満足度	%	2.0	H22	55	H27	17.3	△	あり	●				
									見込み	●				
指標3	まちの住みやすさに対する満足度	%	37	H22	45	H27	45.5	○	あり	●				
									見込み	●				
その他の数値指標1									確定	●				
									見込み	●				
その他の数値指標2									確定	●				
									見込み	●				

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	<ul style="list-style-type: none"> 指標1「安倍川駅の乗客数」については、JR東海が毎年実施している「JR東海乗客数調査」を活用したため、継続的な状況を勘案した成果の評価を行うことができた。 アンケート調査により指標が未達成の場合の、事業効果を想定する質問を実施したことで、未達成時の効果分析を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的に変化をとらえられるデータを用いて指標を設定する。 事業の未完了により、従前指標による定量的評価が難しい場合適切なその他の指標を補完することも検討する。 未完了の事業があることにより評価値が上がらず、完了事業の事業効果が見えにくい場合、事業効果を明確にするため、分析時に調査回答者を分類するなどして事業効果を確認する等の方法も検討する。
	うまくいかなかった点	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング実施後の事業用地確保計画が予定通り進まず、指標2「バリアフリー化に対する満足度」に直接寄与する事業が、事後評価時点で完了していないものがあつたため事業効果を十分に発現できなかった。 	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	<ul style="list-style-type: none"> 「丸子新田公園整備」内容についてのワークショップの開催により、公園整備後の維持管理の体制やまちづくり活動団体の立ち上げにより、住民のまちづくりに対する意識の向上をすることができた。 地元住民が主体となったまちづくり活動団体「長田彩りの会」の立ち上げにより、暮らしマップの作成・配布や彩りフェスタ、灯りフェスタなどのイベントを開催したことで、地域の魅力を高めることができた。また、住民が地域の活動に参加したことで、コミュニティや治安の満足度が上がり、まちづくりに対する意識と住みやすさの向上をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり活動団体のPRを行うとともに、イベント開催等の情報発信の強化や住民が主体となった活動の拡充を積極的に行う。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	モニタリングの実施により、中間年度における各事業の進捗状況が確認でき、それに伴う指標及び数値目標の再検討ができた。	<ul style="list-style-type: none"> 原則として、モニタリングを実施する。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

【交付金の活用予定】

・駿府ふれあい地区(第3期)

【事後評価を予定している地区】

・平成30年度(三保半島地区(第3期))

・平成31年度(草薙駅周辺地区(第2期))

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成28年1月4日(月)～ 平成28年2月4日(木)	平成28年1月4日(月)～ 平成28年2月4日(木)	郵送、ファクシミリ送信、電子メール及び市役所市街地整備課へ直接持参	都市局 都市計画部 市街地整備課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	平成28年1月4日(月)～ 平成28年2月4日(木)	平成28年1月4日(月)～ 平成28年2月4日(木)		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他					

住民の意見 (一部抜粋)	<p>○10名の方から20件の意見が出された。意見内容を以下に抜粋して掲載する。</p> <p>【道路整備について】</p> <p>①丸子池田線、鎌田西信号機より安倍川駅へ西進している道路の道幅に問題が生じています。鎌田側の広場が完成する事により混雑が予想されます。調べてみてください。(特に朝のラッシュ時です)</p> <p>②JR安倍川駅西口から体育館までの遊歩道と車道の整備幅を図る。現在、JR構内西側にある障害者用スロープの撤去と、線路沿いの側溝の埋め立てで、JR線と通路の境は、安全面をしっかりと分け整備する。</p> <p>③JR安倍川駅から丸子への遊歩道・自転車のラインとして、丸子河川の土手整備(県道150号化粧橋～長田体育館)と東海道自然遊歩道の一環として、駿河湾に通ずる沿線の整備をする。</p> <p>④上川原、オーク長田丸子新田方面へ線路沿いに向かって行くとすぐに歩道はなくなり、道も狭くなって、夜間は暗くなり、時折スピードの車が走る。ちょっと危険な感じを受ける。以前、知り合いが接触事故にあった。この辺りの整備計画を知りたい。</p> <p>⑤安倍川駅周辺の道路を歩行者、自転車、車と分離した安全な道路にしてほしい。</p> <p>⑥駅東西の道路が狭いため事故も多い。駅西側に関しては一方通行が多いため、逆走車両が多い。道路に交差点の一時停止の白線ラインを大きく、はっきりと表示が必要です。公園前の飛び出しが危険(子ども多し)。</p> <p>【防犯について】</p> <p>①寺田鎌田第二公園の剪定は2年毎ですが、大木の為1年で繁茂してしまいます。駅に近い為、若者が深夜騒いだり、防犯上の問題も上げられます。見通しの良い環境を作る為、毎年剪定と、防犯カメラ等の検討をお願いします。</p> <p>②安倍川駅の整備により、交通の利便性が高まり、ますます駅を利用する人が多くなっていくと思います。以前より問題になっている、防犯上の点で何となく、駅前交番を誘致していただきたい。</p> <p>③駅に小さな店が欲しい。利用者がただ通り過ぎるだけの駅では発展がない。少しでも足を止める場所が欲しい。駅周辺を明るくして欲しい。駅の交番は必要である。</p> <p>④駅周辺の防犯のために駅に交番を設けたり、街灯を増やして明るくして欲しい。</p> <p>【安倍川駅周辺施設について】</p> <p>①丸子・池田線からのJR安倍川駅への入り口表示(西口表示・目線下のライティング表示誘導)を実施する。</p> <p>②病院、介護施設、駅構内の商業施設の充実。長田支所の充実もお願いしたい。</p> <p>③駅、西側に近隣の公共施設等の案内図看板の設置をお願いしたい。</p> <p>【交通結節機能について】</p> <p>①バスアクセスのない安倍川駅は駐輪場が必須です。その中で安倍川駅西口に有料駐輪場が出来ました。しかし、有料であるため、無料の東口駐輪場に流れ込み満杯状態になりつつあります。このままでいくと、駐輪できない状態になるかと思っています。そのようなことからコミュニティバス導入の考えもあるようですが、以前、徳洲会病院が開院した折、駅から病院までバスが運行されましたが、不便さと賃金高により利用者が少なく、廃止された経緯もあります。その点も考慮していただきたいと思っています。</p> <p>②「引き続きバス事業者との協議を進める」とありますが、(1)既存の下川原線と安倍川駅を経由するようにお願いしたい。(新静岡—安倍川駅—徳洲会病院)(2)新たに、静岡駅南口を結ぶ路線を設定していただきたい。(新静岡—静岡駅南口—静岡大橋経由)—安倍川駅)</p> <p>③駅よりのコミュニティバス等の利用者も多いと思う。</p> <p>【防災について】</p> <p>①鎌田・寺田地区の、狭道・袋小路等を鑑み、消火栓・防火水槽等の充実と、防災対策強化に繋げて欲しい。</p> <p>②温暖化による環境雨水(67mm/1時間)で、丸子川増水で氾濫(河川からの逆流)もあり、排水施設の強化を検討する必要もある。</p> <p>【安倍川駅・駅前広場の整備について】</p> <p>①安倍川駅開設当初は約2,000人程度の乗客数が27年度調べでは4,560人となっておりますが、今後はさらに多い乗客数が予測される事と思います。駅舎完成により駐輪場の整備等による利便性、今後バリアフリー化によるメリットも大きい。</p> <p>②駅前広場の緑化地帯の整備と共に駅周辺の花壇の整備等をボランティア、地域老人会等による美化運動を行う。駅の東西通路等が中心となる。</p>
-----------------	---

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	日詰一幸(静岡大学人文社会学部法学科教授) 室田昌子(東京都市大学環境学部環境創生学科教授)	平成28年3月1日	都市局 都市計画部 都市計画課	静岡市都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	石上義之(技術士)				

審議事項※1	委員会の意見
方法書	・特になし。
成果の評価	◆「指標1:安倍川駅の乗客数」について、評価値の推計では平均増加率を0.5%としているが、乗客数が増える根拠として、周辺住民を細かく分けて分析するなど、細かい分析等の記述があると良かったという意見があった。 ◆「指標2:バリアフリー化に対する満足度」について、評価が低い理由として、人の行動はハード面が変わってもすぐに行動が変わるわけではないという点があげられる。また、バリアフリーは利用しないとわからないため、利用したことがある人の満足度やバリアフリーを必要としている方に限定した満足度などの絞った調査をすると良かったという意見があった。(⇒アンケート調査結果分析においては、いただいた意見に対応する分析は実施している。)
実施過程の評価	◆実施過程の評価としては、以下のような高い評価ができるという意見が多かった。 ・地区のマップの作成や配布は、地区の魅力をさらに高めている。 ・「長田彩りの会」の活動についても、地域の魅力を高める大きな要素であるため、静岡市として支援を行い、まちづくりの推進を行っていただきたい。 ・住民の方々が自ら居住する地域の活動に参画し、新しい仕掛けを作ることはとても良いことであり、活動に参加された結果として、コミュニティや治安の満足度が上がったことも評価されると良い。
効果発現要因の整理	◆効果発現要因に関し、以下のような意見があった。 ・都市再生整備計画の計画期間とバリアフリー基本構想全体の計画期間に差異が見られたため地域全体の事業効果としては高い満足度が得られなかった。 ・個別の満足度では安倍川駅の整備により、駅利用者にとって相当大きな改善効果があったと感じている。
事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案の公表は適切に行われたと確認された。
その他	◆安倍川駅乗客数の推移の中で、H25年度値の増加要因に関する質問があり、富士山の世界文化遺産登録(H25年6月)による観光客数増加の影響が考えられ、推計値の平均増加率の算定上は特例値として除外した旨の説明をし、委員の理解を得られた。
事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成 ・今後、施設整備を行うにあたり、色々な境遇の方々が利用しやすい施設という事でユニバーサルデザインの考え方も必要になってくるという意見があった。
	フォローアップ ・特に意見はなく、フォローアップ計画の作成は適切に行われたと確認された。
	その他 ・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認 ・今後のまちづくり方策は妥当であることが確認された。
その他	・特になし。

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画

あべかわえきしゅうへん
安倍川駅周辺地区(第4回変更)

しずおか 静岡県 しずおか し 静岡市

平成25年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	安倍川駅周辺地区	面積	200 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

目標

- 誰もが安心・安全・快適に暮らせる、幅広い世代に対応したまちづくり
 - ・駅への円滑なアクセス環境を整備することで、交通結節機能の強化を図る
 - ・バリアフリー化の推進によって、すべての人にやさしい生活環境を整備する
 - ・まちの安全性の向上と地域活動の活発化によって、良好な居住環境を形成する

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

安倍川駅周辺地区は、静岡市の西部に位置し、市の中心市街地の1つである静岡駅から1駅と利便性に富んだ住宅市街地であり、良好な居住環境・立地性を有している。近年では、地区を横断する(都)丸子池田線が整備され、東西地区間のアクセス性が向上するとともに、駿河区役所長田支所、静岡徳洲会病院が開業するなど、駿河区の副次的な行政サービス拠点、交通結節点として期待されている。

しかし、本地区の中心に位置するJR安倍川駅は課題が多く、駅前広場がないこと、アクセス道路が未整備であること、駅舎のバリアフリー化がされていないといった状況にある。これは、駅舎の建設当時(昭和60年)、駅周辺の区画整理事業が既に完了していたことから、限られた用地の中で建設されたことに起因している。また、駅の東西の住宅地は一部区画整理が行われたものの、狭小な道路が多く、交通安全の面などに不安がある。

このような課題の改善を図るために、平成13年度より住民参加のタウンウォッチングや勉強会、住民を対象としたアンケート調査等を行ってきた。また、平成16年には、地元10町内の代表者20名による「JR安倍川駅交通環境検討会」が発足し、本格的に駅前広場や交通環境の整備方針の策定に着手し、交通環境改善計画を立ててきた。平成20年に、みずほ側のアクセス道路及び駅前広場を都市計画決定すると共に、事業推進を目指した議論を行うことを目的とし、「JR安倍川駅交通環境検討会」を「JR安倍川駅周辺整備促進協議会」に格上げするなど、住民の参画を得ながら、協働によるまちづくりを進めている。

また、本計画策定にあたっては、地区内の町内会の会長及び副会長を対象としたまちづくり座談会を2回開催し、地区の課題・目標などについて協議を行った。

課題

- 交通結節機能の不足
 - ・JR安倍川駅が利用者の増加に対応されてない。
 - ・交通機関の乗り換えが不便。
 - ・駅へのアクセス道路の整備が遅れている。
- バリアフリー化の不足
 - ・駅施設のバリアフリー化がされていない。
 - ・歩行空間のバリアフリー化がされていない。
- 居住環境のさらなる向上
 - ・街灯が少ないなど安全性に不安を感じる。
 - ・安心して憩い、遊べる場が不足している。

将来ビジョン(中長期)

- 清流に抱かれた心豊かに暮らし続けられる居住地区

(参考)

- ・第2次静岡市総合計画(H22):駿河区における主要事業の1つに「JR安倍川駅周辺整備」が位置づけられている。
- ・静岡市都市計画マスタープラン(H17)
 - :駿河区の骨格を形成する拠点(地域拠点)として位置づけられ、本区の副次的な行政サービス拠点としての機能を確立するとともに周辺環境と調和した居住空間の創出を図る。
 - :長田地域の重点プロジェクトとして「安倍川駅周辺整備」が位置づけられ、駅前広場の整備や駅舎及び周辺歩行空間のバリアフリー化、また自転車駐輪場等の総合的整備により、長田地区の中心的な交通結節点としての機能強化を図る。
 - :土地利用誘導方針において、生活拠点商業地に位置づけられ、既存の生活利便施設を活かしながら、地域の人が集い賑わいのある商業地への誘導を図る。
- ・静岡市緑の基本計画(H18):長田北部地区が緑化重点地区に位置づけられ、身近な公園の整備、丸子川の水辺整備などを推進し、周辺の斜面地の緑を背景とした緑と水豊かな街並みづくりを進める。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
安倍川駅の乗客数	人/日	安倍川駅を利用する1日の人数	交通結節機能の強化に対する指標	4,395人/日	H21	4,560人/日	H27
バリアフリー化に対する満足度	%	バリアフリー化に対する住民の満足度の割合	すべての人にやさしい生活環境整備に対する指標	2%	H22	55%	H27
まちの住みやすさに対する満足度	%	居住環境に対する、住民の満足度の割合	良好な居住環境形成に対する指標	37%	H22	45%	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 駅への円滑なアクセス環境を整備することで、交通結節機能の強化を図る 様々な交通手段による駅へのアクセス環境を整備・改善することによって、安倍川駅の交通結節機能の強化を図る。</p>	<p>■道路：JR安倍川駅西口駅前広場整備事業 寺田鎌田土地区画32号線整備事業 みずほ四・五丁目1号線整備事業 JR安倍川駅東西自由通路整備事業 安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業 ■地域生活基盤施設：安倍川駅西口駐輪場整備事業 ■高次都市施設：JR安倍川駅連絡通路整備事業 □JR安倍川駅橋上駅舎整備事業 ・交通結節点改善事業（関連事業） ・交通安全施設等整備事業（関連事業） ・バリアフリー基本構想（案）重点整備地区（関連事業）</p>
<p>整備方針2: バリアフリー化の推進によって、すべての人にやさしい生活環境を整備する バリアフリー化の推進を行うことによって、子供から高齢者まであらゆる年齢層や立場の人々が、安全・快適に移動・生活ができる環境を目指す。</p>	<p>■道路：JR安倍川駅西口駅前広場整備事業 寺田鎌田土地区画32号線整備事業 みずほ四・五丁目1号線整備事業 JR安倍川駅東西自由通路整備事業 安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業 ■公園：丸子新田公園整備事業 ■高質空間形成施設：JR安倍川駅公衆トイレ整備事業 ■高次都市施設：JR安倍川駅連絡通路整備事業 □JR安倍川駅橋上駅舎整備事業 ・交通結節点改善事業（関連事業） ・バリアフリー基本構想（案）重点整備地区（関連事業）</p>
<p>整備方針3: まちの安全性の向上と地域活動の活発化によって、良好な居住環境を形成する 安心・安全対策の推進と、安心して憩い・遊べる場を確保すると共に、地域活動への支援を行い、ハード・ソフトの両面から居住環境の向上を図る。</p>	<p>■道路：JR安倍川駅西口駅前広場整備事業 寺田鎌田土地区画32号線整備事業 みずほ四・五丁目1号線整備事業 JR安倍川駅東西自由通路整備事業 安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業 ■地域生活基盤施設：安倍川駅西口駐輪場整備事業 ■公園：丸子新田公園整備事業 ■高質空間形成施設：JR安倍川駅公衆トイレ整備事業 ■高次都市施設：JR安倍川駅連絡通路整備事業 □JR安倍川駅橋上駅舎整備事業 □まちづくり活動支援事業 ・交通結節点改善事業（関連事業） ・交通安全施設等整備事業（関連事業） ・バリアフリー基本構想（案）重点整備地区（関連事業）</p>
<p>その他 <市民参加によるまちづくりの取り組みについて> ・安倍川駅周辺地区において、継続的な市民まちづくり活動を実施できる体制を構築するため、平成21年度よりまちづくり座談会を開催している。その成果を受け、平成21年度以降も引き続きワークショップ等を行い、継続的なまちづくりに関する検討を行う。また、本計画のモニタリング・事後評価についても、市民参画の考え方にに基づき実施する。（□まちづくり活動支援事業）</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	3,759	交付限度額	1327.7	国費率	0.353
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	3,425.5	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	1209.906		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	333.5	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	117.794		

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		JR安倍川駅西口駅前広場整備事業	静岡市	直	1,300㎡	20	27	23	27	811	535	535		535
		寺田鎌田土地区画32号線整備事業	静岡市	直	250m	24	27	25	27	47	43	43		43
		みずほ四・五丁目1号線整備事業	静岡市	直	200m	24	27	25	27	47	43.5	43.5		43.5
		JR安倍川駅東西自由通路整備事業	静岡市	直	85m	24	27	24	27	598	598	598		598
		安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業	静岡市	直	21.5m	24	27	25	27	55	5	5		5
公園		丸子新田公園整備事業	静岡市	直	1,091㎡	23	25	23	25	134	134	134		134
		古都及び緑地保全事業												
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設(駐車場)		安倍川駅西口駐輪場整備事業	静岡市	直	630㎡	20	25	23	25	500	500	500		500
高質空間形成施設(歩行支援施設、障害者誘導施設等)		JR安倍川駅公衆トイレ整備事業	静岡市	直	99㎡	24	27	24	27	127	127	127		127
高次都市施設(人工地盤等)		JR安倍川駅連絡通路整備事業	静岡市	直	56㎡	24	27	24	27	71	71	71		71
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,390.0	2,056.5	2,056.5	0.0	2,056.5

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		JR安倍川駅西口駅前広場整備事業	静岡市	直	1,300㎡	20	27	24	24	811	276	276		276
		寺田鎌田土地区画32号線整備事業	静岡市	直	250m	24	27	24	24	47	4	4		4
道路		みずほ四・五丁目1号線整備事業	静岡市	直	200m	24	27	24	24	47	3.5	3.5		3.5
道路		安倍川駅西口歩行者専用道線整備事業	静岡市	直	21.5m	24	27	24	24	55	50	50		50
合計										960.0	333.5	333.5	0.0	333.5

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降分を記載

基幹事業 総計(①+②)										3,350	2,390	2,390	0	2,390
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	-------	-------	---	-------

…A=A'+A''

都市再生整備計画の区域

<p>安倍川駅周辺地区(静岡県静岡市)</p>	<p>面積 200 ha</p>	<p>区域 みずほ、寺田、鎌田、丸子新田、東新田、丸子 上川原、手越原、広野、下川原</p>
-------------------------	------------------	--

